

その概要について報告いたします。

①カンボジアは内戦が終結してから20年程度しか経過しておらず、24歳以下の人口が5割以上と言う驚異的な正三角形の人口ピラミッドとなっております。年間7%という高い経済成長率を示してはおりますが、少し離れた場所や、路地裏といったところは、まだまだ整備されておらず、裸足の子どもがいたり、生活排水の垂れ流しや、ゴミの放置などが散見されたところでありました。

ここでの最大の関心事は、技能実習生の送り出し機関が多く存在し、中でも韓国への派遣が一番人気であるとのことでした。秋田県においても、農業従事者の高齢化に伴う廃業や、規模拡大したくても人手不足のために、足踏み状態が続いていると言う事や、介護施設等に至っては、深刻な人手不足のために、入所をお断りしなければならないと言う現状にあることなど、これらの対策には真剣に取り組んで行かなければならないと強く感じた次第であります。

今後は機会を見ながら、日本の受入先などの状況を調査すると共に、受入団体等からの情報収集などを実施して参りたいと感じた次第であります。

②また、世界遺産に登録された様々な遺跡がありますが、近隣国からの侵略や、内戦等の影響で所々が破壊されたままとなっているものがあり、日本の大学なども作業に従事しているものの、これらの修復には莫大な経費と相当の期間がかかるのではないかと感じた次第であります。

③タイでは、知事のトップセールス兼ア

セアン交流促進事業の一行と合流し、日本生鮮卸売市場の見学、秋田牛輸出促進プロモーション事業、仙北市と男鹿市の教育旅行に関する覚書締結式、タイ航空チャーター便運航関係者説明会を経て、秋田県人会との交流会に参加させていただき、非常に有意義な一日を過ごさせていただきました。

主な議案内容

- ◎一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ◎特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ◎議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ◎秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更について
- ◎能代山本広域市町村圏組合規約の一部変更について
- ◎財産の処分について

一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ3,636万1千円を増額し、予算総額を34億9,438万0千円としました。

歳入の補正の主なものについてであります。まず、給与改定に伴い、職員手当等、共済費の補正を計上しております。

総務費では、燃料費高騰やバス車輛更新に伴う経費の増額による、秋北バス路線維持費補助金の増額などを計上しております。

民生費では、実績見込みによる福祉医療費の増額、後期高齢療養給付費負担金の増額、国保財政安定化支援事業に係る一般会計からの繰出金の減額などが主なものになります。

農林水産業費では、農業費の実績見込みによる農林水産業振興事業費補助金の減額、林業費の一の渡地区など6地区の分収林交付金の増額などが主なものになります。

商工費では、湯の沢温泉のポンプ購入費、またけセンターの培養機械室コンプレッサー基盤が老朽化したことによる基盤の交換代などが主なものになります。

土木費では、社会資本整備総合交付金の増額にともなう橋梁補修に係る委託料と工事請負費の組み替え、橋梁補修調査設計業務委託料の追加、実績に伴う除雪ドーザ購入費の減額などが主なものになります。

教育費では、開発センタートイレの洋式化に伴う工事費の増額、スキー場圧雪車購入に伴う契約差額の減額などが主なものになります。

歳入の補正では、橋梁の長寿命化計画に係る社会資本整備総合交付金の増額、分収林の立木売却収入の増額などが主なものになります。財政調整基金繰入金は、今回の補正の歳入、歳出調整後の繰り入れを計上しております。

主な一般会計補正予算

(単位：千円)

歳入

火葬場運営費負担金	817
自立支援給付費負担金	2,762
社会資本整備総合交付金	9,317
秋田県議会議員選挙費委託金	219
分収林収入	16,899

歳出

バス路線維持費補助金	1,738
自立支援給付費	5,526
福祉医療費	2,329
後期高齢医療給付費負担金	4,479
開発センタートイレ洋式化工事	2,288
分収林交付金	13,525